

令和4年度 寺井小学校 重点目標達成に向けて

未来に必要な力
・society5.0 学び続ける
・SDGs
・学習指導要領
・石川県がめざす教育の姿
・能美市学校教育の目標
次世代を切り拓く人勢の育成
と地域に根ざした学校づくり
「進んで学ぶ人」「感謝と思い
やりの心を持つ人」「たくまし
い心と体を持つ人」

学校教育目的

安心して心開き、仲間と協働して粘り強く柔軟に考え、学び続ける寺井っ子の育成

みんなが「幸せ」な学校

子どもの実態

よさ 素直 前向き
真面目

課題 他人任せ
自信がない

教育目標（めざす児童像）

自分の考えを伝える子

考えのわけを話す 関わって話す

よさを見つける子

課題を見出し、使える材料を探し、見通しを立てる

R4年度 重点 学びの楽しさを取り戻す！

何ができるようになるのか（資質・能力）
○学校教育の基本

何が身に付いたか（評価）

- ①関わろうとする（聴く⇔話す）
- ②課題を見出し、使える材料を探し、見通しを立てる

- ①相手意識を持ち、自信を持って話す
- ②課題解決に向けてのプロセスのよさを実感する

PDCA

何を学ぶか（教育課程の編成）

どのように学ぶか（教育課程の実施）

- ①課題を自分ごととしてつかむ
- ②話す・聴くすべを身につける
- ③基礎学力（漢字・計算・教科言語・語彙・読書）を身につける
- ④教科でつけた力を表現活動などで活用する
- ⑤自分の力を高める家庭学習の習慣を身につける

- ①全員参加で学ぶ
- ②個別最適で協働的に学ぶ
- ③教科の特質に応じた見方・考え方を働かせて学ぶ
- ④教科横断的に学ぶ
- ⑤生徒指導の3機能が働いている授業を通して学ぶ

授業改善
ロードマップ

指導と評価の
一体化

学びの楽しさの実感

子どもの発達をどのように支援するか（全ての児童の学びを保障する）

- 一人一人の子どもを見取り、理解するよう努める
- 一人一人の子どもと向き合う時間を確保する
- 児童についての情報共有を密に行い、協働して支援する
- 支援員、保護者、関係機関と連携し、一人一人のニーズを把握した支援を行う

- 基本的な生活習慣を身につける
- 食育の充実を図る
- 楽しく体を動かす経験を増やす

実施するために何が必要か

- 子ども理解と教師との信頼関係を基盤とした学級づくり
- 子ども達の安全を守る高い危機管理意識（コロナ対策・いじめ不登校未然防止・けがの未然防止）
- 子ども一人一人を見取る授業づくりと校内研究の充実（ICTの効果的活用）
- 業務改善・働き方改革（ゆとりをもって子どもと接し、授業の振り返りや計画を立てる時間を確保）
- 発達支援センター、教育センター、医療機関等との情報共有及び協働と、職員間の密な連携と打ち合わせ

コミュニティ・スクール 学校運営協議会（家庭・地域との連携）

- ◎地域と学校が一体となって役割分担しながら、「みんなが幸せな学校」づくりを目指す。
- 家庭・地域との積極的な情報共有を図り、子ども達の健やかな成長を育むための連携・協働を進める。
- 基本的な生活習慣の確立と家庭学習の習慣化を図る。
- 学校評価等を通して開かれた学校づくりに努める。